

八重瀬町
YAEESE TOWN

第2次八重瀬町総合計画

実施計画

令和8年度（令和7年度決算分）

事務事業評価

「サマーレビュー」シート

※画像はイメージです

経済建設部
都市整備課

【目 次】

事務事業名	ページ
八重瀬町市街化調整区域における地区計画制度説明業務	1
屋宜原土地地区画整理事業繰出金	2
伊覇土地地区画整理事業繰出金	3
公園美化清掃業務委託(単費)	4

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 都市整備課					班(係)名		都市計画班		
会 計	一般会計	科 目	8	款	3	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	指名競争入札
事務事業名	八重瀬町市街化調整区域における地区計画制度説明業務									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	住民説明会の開催 2地域×2回 地区計画の素案の作成を委託する
---------	------------------------------------

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	-		-		-		3,366,000		-	0%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円							3,366,000			0%
	従事職員	人							2			0%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
制度に関する住民説明会の実施(3地区において、各2回実施)	6							6			
	達成率							100%			
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
	5							5			
地主会の発足(3地区) 地区計画の素案作成(2地区)	5							5			
	達成率							100%			
成果説明	提案・申出制度について、住民説明会を行うことにより、本制度を理解いただき、住民主体のまちづくりに繋げることが出来た。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	当該事務事業において、市街化調整区域における地区計画の候補地区の地権者向けに制度説明会を行い、地主会の発足及び代表者の決定までできた。今後は原則として地主会代表で地区内地権者の合意形成を整理してもらうが、地区内地権者の個人情報提供できないことや地主会の情報網のみでは達成できないリスクをはらんでいるため、今後もサポートの手法を検討する必要があると想定される。また、並行して各地区の地区整備計画の提案素案のたたき台を地主会の代表者と調整することになる				
二次評価(行革本部)	活動指標である「住民説明会の実施」は目標通り6回実施され、成果指標である「地主会の発足(3地区)」および「地区計画の素案作成(2地区)」も目標(合計5)を100%達成しており、事業の有効性は高いと判断できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 都市整備課					班(係)名		都市整備班	
会 計	一般会計	科 目	8	款	3	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	屋宜原土地区画整理事業繰出金								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	隣接する伊覇地区同様、立地性を生かし、適正な土地利用の形成を図るため都市基盤施設の整備を行う。 面積：28.3ha、総事業費：約70億円
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
事業費	直接事業費	円	-		-		-		4,086,000		-	0%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円							4,086,000			0%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
清算金通知の発送	件				391	
					391	
	達成率				100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
清算金徴収・交付	件				徴収136、交付255	
					徴収135、交付155	
	達成率					
成果説明	道路及び公園等の公共施設が整備改善され利便性は高まり、整理された住宅地では、通風、採光などの住宅環境がよくなるとともに防災性も一段と高まる。計画的に市街地を誘導することにより、町の健全な発展と活性化が図られる。 令和7年度は、清算金徴収・交付業務を行った。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている		3	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	本換地が完了し、令和7年度は、清算金徴収・交付業務を行った。徴収は概ね完了し、交付は60%済み、事業終了まで順調に進捗している。				
二次評価(行革本部)	活動指標である清算金通知の発送は100%達成され、成果指標である清算金徴収・交付についても、徴収は目標とほぼ同数、交付は目標の約60%と、一部未完了の部分はあるものの、一次評価のコメントにある通り、事業終了まで順調に進捗していると判断できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 都市整備課					班(係)名		都市整備班	
会 計	一般会計	科 目	8	款	3	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	伊覇土地区画整理事業繰出金								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	島尻地域の中心地区としての立地性を最大限に生かし、適正な土地利用の形成を図るため都市基盤施設の整備を行う。 面積：42.5ha、総事業費：約113億円
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
事業費	直接事業費	円	-		-		-		55,528,000		-	0%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円							55,528,000			0%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
権利者への換地計画個別説明会 説明会ご案内の通知	組							529			
								536			
	達成率							101%			
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
換地計画個別説明会 (説明者2名/14日間)	組							224			
								146			
	達成率							65%			
成果説明	道路及び公園等の公共施設が整備改善され利便性は高まり、整理された住宅地では、通風、採光などの住宅環境がよくなるとともに防災性も一段と高まる。計画的に市街地を誘導することにより、町の健全な発展と活性化が図られる。 令和7年度は、換地計画の作成に係る委託業務を実施し、権利者向けに換地計画個別説明会を開催した。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている				3	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価 (所管課)		令和7年度は、換地処分(令和9年度予定)に向けて、権利者を対象に換地計画個別説明会を実施した。							
二次評価 (行革本部)		活動指標である「権利者への換地計画個別説明会ご案内の通知」は目標の101%を達成しており、業務が滞りなく進行していることが伺えます。成果指標である「換地計画個別説明会」は、目標の65%という達成率ですが、大規模な土地区画整理事業における個別説明会の特性(権利者の都合や理解度に応じた進捗)を考慮すれば、現段階での成果としては有効であると評価できます。							

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 都市整備課					班(係)名			都市整備班	
会 計	一般会計	科 目	8	款	3	項	4	目	主な契約方法(該当のみ)	
事務事業名	公園美化清掃業務委託(単費)									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	当課が管理する都市公園の維持管理に伴う環境美化を目的とした事業。
---------	----------------------------------

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	-		-		-		7,188,800		-	0%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円							7,188,800			0%
	正規職員	人										
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
作業員	人							900			
								900			
	達成率							100%			
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
施設数	箇所							10			
								100			
	達成率							1000%			
成果説明	景観美化の除草を含めた作業を行うことで公園内の良好な環境を維持することができた。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

5.【事務事業の経費計画・令和5年度の方向性】・Action(改善力)									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	景観美化の除草を含めた作業を行うことで公園内の良好な環境を維持することができた。								
二次評価(行革本部)	都市公園の維持管理は、住民の健康増進、レクリエーション活動の場提供、地域の防災機能確保、良好な景観維持といった多岐にわたる観点から、町が直接的に実施すべき重要な行政サービスです。住民の日常生活に直結するニーズも高く、事業の実施は高い妥当性を有しています。								